



二十二十年五月二十五日

☆ 太陽コロナは100万度を超える超高温のプラズマ層で多くの謎に包まれています。コロナウイルスもわからないことばかりですが、日本での緊急事態宣言は大部分解除されました。我々はわからなくても前に進んでいかなければなりません。

☆ 新しい生活様式になれましたか

☆ 政府が提示した新しい生活様式、ライブハウスはなくなり、イベント会場の客席は2割しか使えません。抱き合つて喜びを分かち合うことはできず、見つめ合つて話をすることもできない。そんな窮屈な生活ですが何とか工夫して耐えていきたいと思います。新しい生活様式を少し皮肉的に訳してみました。

☆ 新しい日常

☆ 一人一人の基本的対策

- ▽ 他人とは 肩を組んだり、お向かいや、隣同士に座ったりしてはいけません
- ▽ 恋人以外、相手の目を見て話してはいけません
- ▽ 卓球、スカッシュ、ビリヤード、バトミントン、ダーツ遊びはどうしましょう。
- ▽ マスクはまだまだ夏でも必要です。
- ▽ 玄関には手洗い場を設けます
- ▽ 隣の町にはいきません

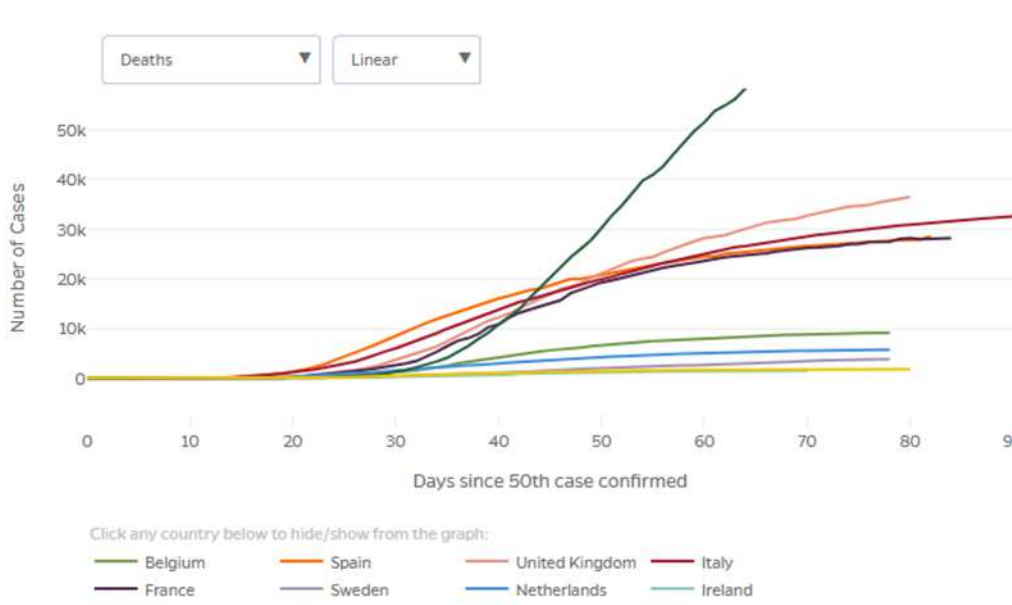
☆ 日常生活

- ▽ 握手はせずにお辞儀をしましょう
- ▽ 頻回に喚気が必要ですから、冬は室内でも防寒服を着ましょう

☆ 新しい働き方のスタイル

- ▽ 買い物は一人でこっそりと
- ▽ 公共交通機関を使うのはお控えください
- ▽ パーティ・バイキング料理はなし、中華料理

の宴会もなし。テイクアウトとデリバリーを  
▽ 会社で人とは会わないこと  
▽ 名刺交換はスマホで代用 会議はオンライン  
▽ 人と会うときもなによりもマスクと換気  
忍者かゴルゴ13を思い浮かべて励みましょう



☆ 感染の傾向：今回はジョンホプキンス大学のHP

からグラフを引用してみます。各国の傾向はいくつかに分類できそうです。患者数、死亡者数が減らない国。ひどい目にあつたがなんとか抑え込んだように見える国。感染は多いけど死者を抑え込んでいる国。右のグラフも人口の割合でみるとまた違ったものが見えてきます。都市封鎖の経済に及ぼす甚大な影響を我々は知りました。経済活動を再開しようとする国々が増えていきます。中近東・南米・ロシア・アフリカがこれから心配です。ウイルスは気まぐれ。他の風邪と同じように暖かくなってウイルスの流行が下火になることを祈ります。百年前スペイン風邪の時には第1波の半年後に巨大な第2波

が襲来して甚大な数の人が死にました。今が次の感染爆発に備える一番大事な時期。その基本は検査と隔離です。隔離には個人防護道具を用いた個別の隔離、ソーシャルディスタンスに代表される個人間の隔離、都市封鎖を代表とする社会的隔離、そして、医学的ともいべき感染者の隔離です。どれも欠かすことができないようです。

☆ 新しい知見・・・コロナウイルスと血栓症

コロナウイルス感染症が、肺炎だけではなく血管炎を起こすことが明らかになっています。嗅覚、味覚障害と髄膜炎の発生から、容易に中枢神経系を侵すことも予想されます。もしかしたら、頭痛だけのコロナウイルス感染症もあるかもしれません。

☆ 検査について復習しておきましょう。

☆ 抗原検査・・・人間にとって異物はすべて抗原になり得ます。ウイルスの外郭のタンパクや核の部分(核酸)も抗原になります。ウイルス固有のたんばく質が体内に認められているというのは感染の証拠で抗原検査ではこれを検出します。インフルエンザの場合、検体は咽頭ぬぐい液でクリニックでも行っています。コロナウイルスについては検体の採取部位、感度や精度にまだ問題があります。一方ウイルス固有の核酸があるかどうかを、核酸を試験管で増やして検出するのがPCR検査です。これには面倒なプロセスと技術が必要なのですが、最新の機器ではかなり機械化されているようです。感度や精度は抗原検査より良いですが、万能ではありません。以上の2つは現在感染しているかを調べる検査で、その人を隔離すべきかどうか判断するため、特別な薬で治療を始めるには必要です。欧米の百分の一くらいしか検査ができていない日本のこれから拡充すべき部分です。

☆ 抗体検査・・・最近話題となっている抗体検査ですが、抗原が体の中に入ると人体の免疫システムでその抗原を無力化するためにつくられるタンパクが抗体です。2週間程度で産生されるIgGを証明できれば感染した経験があることがわか

ります。固有のIgGを持っていれば2回目のコロナウイルスには感染しない免疫ができることが期待されますが、今までのコロナウイルスではそれは難しいといわれています。人為的に免疫を作るためのワクチンの開発はまだまだ時間がかかりそうです。

☆ 五月十八日よりリハビリ部門を再開しています。

十分な感染対策を取り、五月一八日よりリハビリ部門(言語療法を含む)を再開しています。

☆ オンライン診療を開始しています。電話再診の活用もお願いします。

初診も含めたオンライン診療を始めます。患者様側で必要な用意は、専用アプリをインストールしたスマホとクレジットカード・保険証と身分証明書(運転免許証など)です。裏面に詳しく示しましたが、わからない場合は受付でお尋ねください。電話再診による暫定的なオンライン診療(再診のみ)は午後二時半から三時迄の間行っております。桑名市PCR検査の検体採取センターが応急診療所で週2回稼働しています。

☆ 体調が悪い時、発熱がある、頭痛が強い、全身倦怠感が強い、息が苦しいとき、味覚・嗅覚が落ちた時など、早いうちにかかりつけ医に電話で相談しましょう。

医院からのお願い

- ★ 電話再診・オンライン診療が利用できます。受付などでご相談ください
- ★ 体温を自宅で計って発熱があればあらかじめ連絡をください!
- ★ 医院の入り口で体温を測ります。発熱者は車内での待機をお願いします
- ★ 入り口で手指消毒・マスクをしてください

コロナニュース 編集・文責 村松正俊



